

「2019年度バイクロジー地域リーダー養成セミナー」実施報告

全国のバイクロジー地方組織や一般の方を対象として、昭和21年から自転車界に携わってこられた東京葛飾バイクロジーの矢崎文彦会長にご講演頂きました。

出征から復員した体験も含め、自転車産業に携わり先見の明を生かしたアイデアで販売戦略を練り営業をされた成果。メーカーを務め上げた後は、中小メーカーの取り纏め団体「日本自転車製造卸協同組合連合会」専務理事に就任し、当時の監督官庁である通商産業省車両課担当者と交流を持ち、アメリカにバイクロジー運動がある事を聞いた。20年間の任務を終え、本会からの声掛けに応え東京葛飾バイクロジー推進協議会を立上げる。葛飾区役所及び亀有警察署と協力し、放置自転車追放キャラバンへ参加・青少年への交通安全PR活動・高齢者への交通安全PR活動・春秋の全国交通安全運動に協賛など地域と一緒に活動を行って放置自転車の減少などに大きな効果をあげている。

また、間もなく99歳になる現在も日々自転車を愛用している体験から、自転車は健康な体づくりに効果的であると身をもって証明し、今後もみんなで自転車乗用環境改善の普及啓発をしていこうと話して頂きました。

- ◆講 師：NPO法人 東京葛飾バイクロジー推進協議会 矢崎文彦会長
- ◆テーマ：大正に生まれ 昭和の自転車産業・平成のバイクロジー振興・令和の展望
- ◆開催日：10月23日（水）東京（自転車総合ビルにて開催）
- ◆参加者：18組織21名、一般・関係団体34名 合計55名参加



競輪の補助事業

このセミナーは競輪の補助を受けて実施いたしました。